



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区まちづくり協議会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

まち協だより

第1回理事会(4月7日)

①「まちづくり行動計画特別委員会」を設置し、「協働のまちづくり指標」の具体化について検討する。向出信一さん(若草4丁目)、大上勝彦さん(同5丁目)、西村慧さん(同6丁目)、大柴悦子さん(同3丁目)、北岡七夏さん(同2丁目)に委員を委嘱。

②集会所管理委員会の作業部会として「集会所補修特別委員会」を設置し、集会所5棟の屋根・外壁の補修などについて検討する。委員長に小松原さん(若草5丁目)、委員に扇さん(同1丁目)、斉藤さん(同3丁目)、増田さん(同6丁目)、藤田さん(同7丁目)の各町内会長。

③平成24年度から3年間、LED防犯灯の器具が草津市から無償支給されることになり、地元の負担は工事費のみなので、各町内会でLED化を検討する。



ふれあいハウス「絆」

社協総会、小野会長を3選

ささえあいなど事業計画決める

志津南地区社会福祉協議会は4月15日、平成24年度総会を開き、24年度事業計画、23年度決算報告を承認。三選された小野栄祐会長を中心に、まちづくり協議会に適応する新たな執行体制で24年度がスタートしました。

今年度は、21年度に策定した住民福祉活動計画の仕上げの年になります。当地域も10年後には高齢化率(65歳以上)が43%に達するものと予測されています。

総会では、このような高齢社会に備え、今から住民同士が支えあう地域福祉を推進し、地域の中に自分の居場所を感じ、絆を深め、安心して暮らしていける「老いても住み続けられる福祉のまちづくり」を目指して、力を合わせて活動していくことを申し合いました。

今年度は、従来からの取り組みに加え、2月にオープンしたふれあいハウスを拠点とした地域支えあい活動を定着させていく重要な年となります。ご理解ご協力をお願いします。今年度の主な活動計画は次の通りです。

事業計画
▽住民福祉活動計画推進事業

- ・住民福祉活動計画の推進
- ふれあいニュース発行、老人クラブ参加者拡大
- ▽福祉の土壌づくり・活動の担い手づくり・個別援助活動
- ・地域支えあい活動(ふれあいハウス)、福祉懇談会、福祉委員活動の支援、高齢者向け料理教室、心身障害児ふれあい交流、一人暮らし高齢者との昼食会、ふれあいバスツアー
- ▽福祉活動団体の支援
- ・高齢者の支援(仲間づくり・健康維持・生きがい支援など)
- ・子育て支援(親子ふれあい広場・5歳児以下の育児に関する講習など)
- ▽ふれあいサロン事業支援
- ▽敬老会
- ▽平和祈念講演

役員
24年度役員は次の通りです。

夏まつりは7月28日に

第15回志津南ふれあい夏まつりは7月28日(土)午後5時から若草中央児童公園で開催されることに決まりました。

5月19日(土)には第一回夏まつり実行委員会を開催、模擬店のメニューや当日までのスケジュールなどを確認します。

盛大な夏まつりとなるよう各町内会をはじめ各委員会、団体に協力を要請します。

- 会長 小野栄祐
- 副会長 松本孝子
- 会計 村井由美子
- 福祉部長 栗津佳子
- 福祉委員長 小早川勝廉
- 顧問 杉田友春
- 監事 大上勝彦
- 監事 上田恒章

平成23年度収支決算報告

歳入の部	決算金額
繰越金	185,186
会費	450,500
草津市社協補助金	990,000
自治連助成金	170,000
賛助会費&雑収入	97,223
地域支えあい事業費	4,200,000
合計	6,092,909

歳出の部	決算金額
市社協分担金	135,150
草津市社協補助金事業	990,000
個別活動支援	10,000
ふれあいサロン事業支援	25,000
敬老会助成	129,517
社協直轄事業	162,335
高齢者の支援	163,145
子育て支援	180,000
地域支えあい事業	4,200,000
予備費	83,909
合計	6,092,909

小中保で入学入園式

志津南小、新一年生は84人

高穂中では251人が入学



志津南小学校の入学式



をかり、直観力、吸収力を持つ子どもたちを、学校目標である「心豊かに未来を拓く力の育成を目指していきたい」と強調しました。

このあと、新一年生代表3人が橋川校長から真新しい教科書を受け取り、最後に2年生から「くじけそうになったときはささえてあげるよ」と頼もしい歌の祝福を受けました。一方、高穂中学校では午後か

ら第29回入学式が行われ、新しい制服姿の251人がたくましく第一歩を踏みだしました。

北川健校長から「答え」だけを見つめるのではなく、「何故だろう」と考える力と困難な場面でも乗り越えられる心を成長させて欲しいと言葉を贈りました。

また若草くるみ保育園は4月4日、一足早く入園式を行い30人が集団生活のスタートを切りました。服部登志夫園長は「元気がいっぱい遊みましょう」と呼びかけました。

在園児たちからは「チューリップ」「むすんでひらいて」の歌のプレゼントがありました。

くるみ保育園で交通指導

草津栗東交通安全協会志津南支部(渡邊安之支部長)は、草津市生活安全課と共催で4月24



横断歩道の渡り方を学ぶ園児たち

日、若草くるみ保育園児85人を対象に同園で交通事故防止の啓発活動を行いました。

草津市生活安全課の若葉チー(坂梨代表)が腹話術を交えての信号の見方、交通安全の川崎会長と志津南支部女性部がグラウンドでの信号機を使って横断歩道の正しい渡り方などを指導しました。

園児たちは真剣に、行儀よく、仲良く「手をあげて、右見て左見て」の正しい横断歩道の渡り方を学びました。

志津南小学校の第26回入学式が4月9日、穏やかな春の日差しと桜の花の中、びかびかのランドセルを背に新入生84人が校門をくぐりました。

大きな拍手に迎えられた新入生は、ちょっぴり緊張気味の面持ちながら、堂々と式場の体育館に入場しました。

橋川礼子校長は新一年生に向かって「キラキラ輝く皆さんの顔が素敵です」「おはよう、こ

んにちは、ありがとう、ごめんなさい、さようなら」のあいさつの言葉は、人と仲良くなれる、勇気がわく、心がすっきりする、仲なおりも出来る魔法の言葉であるとあいさつの大切さを優しく語りかけました。

また保護者に対しては「一日一度はじっくり子どもの話を聞き、あたたかくぬくもりのある家庭が大切」と家庭力に期待また安全面、見守りなど地域力

ふれあいバスツアー、坂本へ



旧竹林院でくつろぐ参加者

志津南地区社会福祉協議会ボランティアグループ泉(代表・藤田清子)は4月27日、独り暮らし、昼間独りの方たちとボランティアの交流ふれあいバスツアーを実施しました。

好天に恵まれたこの日、市民センターに集合した参加者40人はバスで歴史の町坂本へ向かいました。

バスの窓から琵琶湖を眺めているうちに坂本に到着。坂本は古くから歴史を今に伝える史跡や建造物も多く特に比叡山延暦寺の隠居寺として里坊が数多く点在する門前町として知られています。そのなかでも有名な旧竹林院を訪れました。

院内に足を踏み入れると八王子山を借景に地形をいかした小さな滝や茶室

もあり、また清流が流れる情感あふれる風景が広がります。手入の行き届いた庭園を眺めながらガイドの説明を聞いた後、みなさんゆつくりと自由散策、お抹茶で一服と新緑を満喫しました。このあと、昼食場所のKKRホテルびわこへ。窓からは遠く対岸に望む

湖南の山々、ひとときわ高く近江富士、そして青々とした湖上を行く観光船やヨット、釣り船が浮かぶ絵のような景色。みなさんはそんな景色をテラスで眺めたり買い物したり、のんびりとしたひとときを過ごしました。中にはホ

テル近くにある、近江八景の一つ「唐崎の夜雨」で有名な唐崎神社を参詣された方もいました。

(ボランティアグループ泉)

平成24年度まちづくり協議会委員名簿

平成24年度まちづくり協議会各委員会の代表は次の通りです。

民生委員児童委員協議会会長	松本 孝子
自主防災委員会委員長	増田 正
交通防犯委員会委員長	川崎 芳明
草津栗東交通安全協会支部長	渡邊 安之
ボランティアスクールガード代表	和田 基
社会福祉協議会会長	小野 栄祐
健康推進員連絡協議会代表	小早川敏子
老人クラブ若寿会会長	奥田 隆三
NPO若草の家代表	崎山美智子
子ども会会長	清水 弥永
地域協働校推進委員会会長	岩井 淑郎
青少年育成委員会委員長	斎藤 充浩
ふれあい実行委員会委員長	山本 和男
体育振興委員会委員長	辻井 昌利
人権教育委員会委員長	増田 庸輔
町並み保存委員会委員長	山中 誠
環境美化委員会委員長	佐々木奉昭

ねりんピック滋賀大会で優勝

若草ソフトボールクラブが快挙

社会福祉協議会主催のねりんピック滋賀大会が4月15日、大津市坂本市民球場で開催され、若草ソフトボールクラブシニア(代表・岡茂樹)が念願の優勝を果たしました。

若草は初戦で昨年の同大会のチャンピオンチーム「レークユニオンズ」(八日市)と対戦し4対2で勝利、2回戦は初戦の勢いのままに「栗東ナイススターズ」に5対1で快勝。決勝戦は先の県春季総合選手権で敗れ

た「オール甲西」と対戦、初回打者一巡の猛攻で一挙4点を先取、3回には連打で2点を追加

4回にも代打のタイムリーで加點、守っては投手リレーで2点を抑え、7対2で勝ち、優勝を飾りました。写真。

ねりんピック全国大会は今年が宮城県で開催される予定でしたが、震災の関係で中止となり、全国大会出場は叶いませんでした。

しかし、5月20日から始まる日本シニア全国大会(山梨県)予選の滋賀県大会を突破し、全国大会出場を目指してさらなる練習に取り組んでいるところで

地域の皆さんの一層のご声援をお願いいたします。

参加希望者は代表・岡茂樹 電話(562)9585まで



お問い合わせください。

言葉のほほれ話

裏見草

「裏見草」という草の名前、聞いたことがありませんか。「葛(くず)の俗称なので。この葛を詠みこんだ恋しくば、尋ねきて見よ和泉なる信太(しのだ)の森のうらみ葛の葉」という歌は歌舞伎の演目にもあり、ご存知の方も多いことと思います。

平安時代の陰陽師(おんみょうじ)として有名な安倍清明(あべのせいめい)の母といわれる信太の白狐(葛の葉姫)が森に帰るに際して、わが子に残した歌とされています。「うらみ」は恨みと裏見の掛け言葉ですが、恨みはともかく、裏見とは何でしょうか。



葛はよく葉裏を見せるので「裏草」と呼ばれるのです。万葉集には「岡の葛葉を吹き返し」とか「真葛原なびく秋風」のように風に葉がなびいて葉裏が白波のごとく翻る風情を歌ったもの

が多く、裏見草と言われるので、裏見草と言われる所が多いです。

でも風が吹かなくても、葛は自分で葉裏を見せるのですよ。

かかん照りどころでは日の当たたる面積を最小にするために、小葉を3枚とも地面と垂直に立てて暑さをしのぐのです。日陰では大きな葉を思い切り広げているのに。

これをみて裏見草と呼んだ昔の人は植物を美によく観察して

葛の根は葛根湯で知られるように解熱作用があり、葛粉になる有用な植物です。下から順に紅紫色の花をつける姿はあやかですが、香りが強く暑苦しい感じも。この町内でもよく見かけますが、古い株でないと花をつけないせいか案外知らない人が多いようです。

ところで、先の葛の葉物語で知られる葛葉稻荷神社(JR北土農田駅下車)の葛は3枚の小葉のうち2枚が裏を向いて裏白を見せるユニークなものです。一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。

カートリッジ回収箱を設置

志津南小PTAはこのほど、ベルマーク収集活動協賛社のキヤノンとセイコーエプソン社製のプリンターの使用済みのカートリッジ回収箱を志津南市民センター(公民館)の蛍光灯処

分箱の横に設置しました。

同小PTAはベルマーク点数を集め、1点1円として換算して寄付されることになってい

ます。

(PTAベルマーク担当)



- 5月19日 (土)
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
- 5月22日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10:00～11:30
- 5月23日 (水)
 - ★やすらぎ学級
 - 13:30～17:00
- 5月26日 (土)
 - ☆社会奉仕
 - 8:30～
- 6月1日 (金)
 - ★ふれあい昼食会
 - 12:00～13:00
 - ボランティア「泉」
- 6月2日 (土)
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:15 若草中央公園集合
- 6月9日 (土)
 - ☆わんぱくプラザ南っ子
 - ホテルに会いに行こう
 - 18:30～20:30
- 6月12日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10:00～11:30

- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶 (お茶の間)
 - 10:00～12:00
 - 若草第五集会所 (五丁目)
- 金曜日を除く毎日
 - ☆ふれあいハウス「絆」
 - 10:00～16:00
 - 若草第六集会所 (六丁目)
- ★印の場所は志津南市民センター (公民館) です

若寿会が総会開く



老人クラブ若寿会は4月7日、志津南市民センターで平成24年度総会を開催しました。写真。

総会では平成23年度事業及び決算報告、平成24年度役員選出、事業計画と予算、各案が原案通り承認されました。

若寿会は志津南地区社会福祉協議会の住民福祉活動計画に基づき、全員が会員増強に取り組

んだ結果、24年度は8人の新会員がメンバーに加わりました。会員みんなで支え合い助け合っつて絆を深め、楽しい若寿会にして行こうと話し合い総会を終えました。

新役員は次の通りです。

▽会長 奥田 隆三
▽副会長 永瀬 禎一
▽同 高本マサ子

草刈り隊が初仕事



昨年11月に結成された若草一、二丁目のボランティア草刈

り隊 (扇寛代表) が4月24日、若草東児童公園を中心に初の草刈り作業を行いました。写真。

平日のため参加者は少なかつたものの、有志6人が見苦しい雑草を刈りとり、子どもたちが安心して遊べる環境を整えました。

地協の事業計画決まる

子ども育成グループ地域協働
合校推進委員会 (石井淑郎会長) は平成24年度の事業をわんぱくプラザ南っ子実行委員会と合同で次の通り実施する予定です。

◆ホテルに会いに行こう
6月9日18時30分、市民センターでホテルについての勉強会、伯母川周辺のホテル観察に出かけます。

◆第1回館外研修
7月21日9時～16時。研修場

所・醒ヶ井養鱒場

日本最古の養鱒場の施設でマス類の生育、養殖技術などを学びます。

◆南っ子宿泊体験
8月4・5日
宿泊や集団生活を通して自立心や協調性、創造性を養います。

◆第2回館外研修
11月17日9時～16時。「自然体験教室」(研修場所未定)

自然体験や観察を通して、自然地域を愛する心を育み協調する心を育てます。

◆もちつき大会
2月16日9時30分～12時
毎年恒例のもちつき大会を通して、子どもたちと大人の交流を深めます。

◆やすらぎ学級公開講座
やすらぎ学級は、次の要領で開催式、公開講座を開催します。

▽日時 5月23日 (水)
午後1時30分～3時

▽場所 志津南市民センター

▽内容 会議室

▽内容 「楽しく歌って生き活きとパートII」

▽参加費 無料
講師 尾木 八重子さん

どなたでも参加していただけます。ご近所、お友だちお誘いあわせのうえ、ご参加ください。また、学級生についても随時募集しております。

▽問い合わせ
志津南市民センター (公民館)
電話 (563) 6206

折々の記



風の薫る5月。ピンクの花を咲かせていた桜は、今、緑の葉っぱをつけ日々勢いを増しています。木々などの植物は、花をつける時が最後であり、新芽が出て緑が成長するときに、1年の始まりとか。今まさにそのときです。

志津南地区は緑豊かです。町並みは市内でも有数の誇れる景観を作り出しています。これは、いわゆる若草地区の「地区計画」によるところがあります。それ以上、ここに住まれる皆さん

緑の季節

私は、3月までは、市役所の公園緑地課におりましたが、草津市では、平成32年を目標年次とした「第2次草津市緑の基本計画」に基づき、市内の緑を「守り、つくり、育てる」ことを、町内会、学校、事業者などと一緒に進めています。その中には、「市民一人ひとりが主役です」とあり、志津南地区ではまちづくり協議会を中心に、花や緑を含めて、さらに住みよいまちづくりを進めています。

(志津南市民センター所長 木村幸雄)